

研究タイトル：

## 自律的な安全安心情報共有システムの開発



氏名： 浦上美佐子 / URAKAMI Misako E-mail: urakami@tokuyama.ac.jp

職名： 教授 学位： 博士(理学)

所属学会・協会： 情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本航海学会, 日本教育工学協会

キーワード： 通信ネットワーク, モバイルエージェント, 海上 ITS, AIS, 災害後ネットワーク, 離島航路

技術相談  
提供可能技術：  
 ・無線によるコンピュータネットワークを用いた自律的な情報提供システムの開発技術  
 ・高齢者向け ICT 利活用のための支援モデルの提案  
 ・沿岸海域における船舶を利用した情報共有システム

### 研究内容： 平常時／非常時に利活用可能な自律的無線ネットワークシステムの提案

平常時／非常時における安心安全のための情報共有を自律的におこなうシステムを開発することを目的として、無線によるコンピュータネットワークを用いた自律的な情報提供システムの開発や、情報弱者(高齢者や小学生等)向け ICT 利活用のための支援モデルの提案等を行っています。

#### 1) 自律的無線ネットワークによる被災情報提供システム

災害後に各避難所に免許不要な無線基地局を設置し、バッテリー等により電源を供給するだけで、無線回線の設定や被災情報の交換・共有を自動的に行い、災害対策本部における被災情報の早期把握を目指しています。

#### 2) 沿岸海域における船舶を利用した情報共有システム

災害後に孤立化が問題視されている中山間地域と同様の条件を持つ離島に着目し、離島付近を航行する運航船に免許不要な無線通信を導入し、沿岸海域における情報共有の実現を目指しています。

#### 3) CLASS B AIS(簡易 AIS)の記録データを利用したアプリケーション開発

海上交通情報の精度向上のため、小型船舶への Class B AIS の普及を目指すため、リアルタイムな衝突回避目的の使用だけではなく、簡易 AIS の発展的使用を推進するためのアプリケーションの開発を行っています。

※AIS: 船舶自動識別装置 (Automatic Identification System)

#### 4) 高齢者向け ICT 利活用のための公開講座等の実施


開発システムの平常時利活用法として、高齢者の QOL(Quality Of Life、生活の質)向上のための「高齢者向け ICT 利活用のための支援モデル」を提案し、公開講座等を実施します。

#### 5) 防災出前授業の実施

第一のサバイバル(自分の命は自分で守る)をテーマに、非常時の初動対応の方法は？ 安心安全のための情報は何か？ 連絡方法は？ といった内容で、防災士としての知見を踏まえて、小中学生向けの「情報」に視点を置いた防災出前授業等を実施します。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	

				
Name		E-mail		
Status				
Affiliations				
Keywords				
Technical Support Skills	<ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>•</li> <li>•</li> </ul>			

### Research Contents

英語版を作成しない場合は、  
この英語版ページを削除する。

### Available Facilities and Equipment
